



川越

No.884

平成8年4月10日

■ 平成8年度予算の概要

- 市長への提案から 7
 - 指定保養施設利用補助制度のお知らせ 8
 - 川越シャトル運行開始 10
 - 老人憩いの家・老人デイサービスセンター 11

● 第二次川越市総合計画（概要）が折り込まれています。

川越景観百選㉔・川越女子高校の桜並木



平成8年度予算の概要

福祉施策と環境整備の充実を最重要課題に



川越市長
舟橋功一



私は就任以来、「市民参加の対話の市政」を市政運営の基本理念に掲げ、安心して暮らせる、住んでよかったと思える魅力ある都市の実現に向けて各種施策を積極的に推進してまいりました。この間、バブル経済の崩壊に伴う経済不況の長期化および深刻化等による厳しい財政事情が続くとともに、不透明かつ流動的な社会情勢ではありますが、市政が目標に向かって遙かなく前進してきておりることは、皆様のご支援によるものであり、心から感謝申し上げます。

平成8年度は、第二次川越市総合計画の初年度であります。市民一人ひとりが心の豊かさとゆとりを実感でき、だれもが住むことを誇りに思えるような魅力ある都市づくりを進め、将来都市像である「自然と歴史を生かし、市民がいきいきと、新しい暮らしを創造するまち」の実現に向けて、全力を傾注してまいる所存です。

総額1,318億7,000万円のあらまし

歳入と歳出

本市の平成8年度予算案の編成にあたっては、国の予算、地方財政計画の動向等を踏まえ、また、今後の経済動向や財政見通しに十分配慮しながら、限られた財源を有効かつ効率的に活用すべく、予算の重点的・効率的配分を図ることとしました。

歳入の根幹を成す市税については、個人消費、住宅建設および民間設備投資等が極めて緩やかな回復基調にあることなどを勘案し、前年度当初予算対比四・三%増と二年ぶりの增收を見込みました。

主要な施策の概要

保健・医療・福祉

乳幼児医療費支給の対象年齢を4歳未満まで拡大

児童福祉については、安心して育児ができる社会の実現を目指して、これまでにも乳幼

児医療費の支給対象年齢を三歳未満児まで拡大してきました。新年度は、さらに四歳未満児まで拡大し、医療費負担の軽減を図ります。

ホームヘルプサービスの充実

在宅福祉サービスの整備・充実を図るために、日常生活に支障がある高齢者等のいる家庭にホームヘルパーを派遣するとともに、身体の介護など日常生活の世話をする二十四時間対応の巡回型ホームヘルプサービスを引き続き実施します。

余裕教室を利用したデイサービスと老人憩いの家

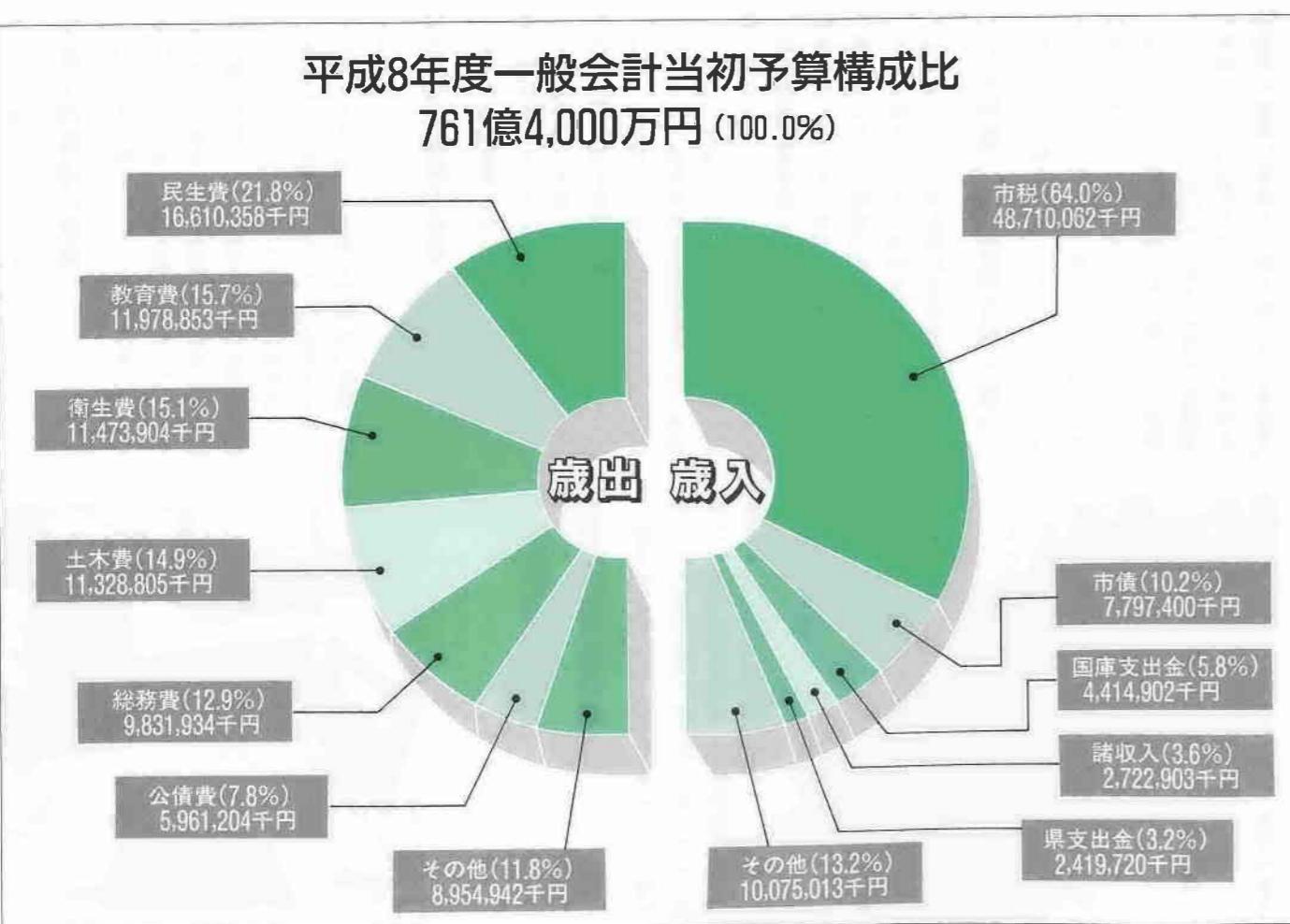
高齢者が、身近な地域で気軽に心身機能の維持向上に利用できるデイサービス事業を、霞ヶ関東小学校の余裕教室を利用して開始するとともに、高齢者の生きがいづくりに大切な地域の人々とのふれあい、交流の場として、小ヶ谷地区と高階地区に老人憩いの家を開設しました。

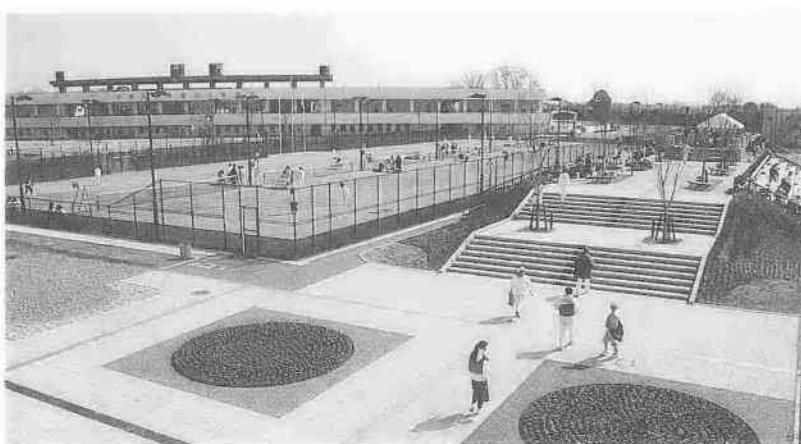


乳幼児医療費支給の対象年齢を4歳未満まで拡大

平成8年度一般会計当初予算構成比

761億4,000万円(100.0%)





整備が進む川越運動公園



サンロードに続いて電線類地中化が実施される新富町通り



余裕教室を活用して生涯学習施設を整備



4月から延長保育が始まった高階保育園



4月1日にオープンした小ヶ谷老人憩いの家

仮称総合保健センターを建設

市民が人生八十年代を健康で生き生きと過ごすため、保健・医療・福祉の連携の拠点として、仮称川越市総合保健センターの建設を引き続き推進するとともに、新たに成人歯科検診を実施し、歯科疾患の予防と歯科保健の意識の高揚に努めます。

成人歯科検診を開始

成人病の予防対策については、健康相談、健康教育、基本健康検査、がん検査等の事業を引き続き推進するとともに、新たに成人歯科検診を実施し、歯科疾患の予防と歯科保健の意識の高揚に努めます。

高齢者施設の充実

特別養護老人ホームや老人保健施設については、地域の在宅福祉の拠点として所要の補助を行い整備を進めます。

乳児保育・一時的保育・延長保育を実施

女性が働きやすい環境の整備に配慮して、高階保育園において乳児保育、一時的保育および午後八時までの延長保育を実施します。

心身障害者施設の経費助成

障害者福祉については、民間社会福祉法人が建設を進めている身体障害者療護施設および精神薄弱者通所授産施設に対し、その所要経費の助成を図ります。

教育・文化・スポーツ

仮称東ブロックセンターを建設

文化施設の整備については、多様化する市民要望や高齢化社会に対応した多機能施設として、仮称東ブロックセンターの建設を図る

一環として準用河川と幹線水路についても整備を推進します。
桜づつみ事業は、小ヶ谷地内と山田地内の八百五十メートルを整備してきましたが、新たに上寺山地内でも桜づつみ事業を引き続き推進していきます。

公園の整備・充実

川越運動公園は、園路および駐車場の整備を行い、運動公園の早期完成を目指します。また、仮称菅間緑地整備事業では、水辺を彩るさまざまな植物や生態学を学習できるビオトープを取り入れた公園として整備します。
*ビオトープ：動植物の生活空間を意味します。

土地区画整理事業の推進

すでに事業施工地区である川越駅西口第二工区土地区画整理事業は、昨年十一月、各権利者に対して仮換地案を提示しました。新年度は早期完成に向け、権利者の協力を得ながら事業の推進に努めます。
高階土地区画整理事業は、地区界測量、現況測量を実施するとともに、基本計画案を策定し、権利者との合意形成に努め、事業のいっそうの推進を図ります。
霞ヶ関駅、南古谷駅周辺地区については、都市基盤整備に向け引き続き調査を進めるとともに、本川越駅周辺についても再開発事業を目指し、調査を進めます。

産業

仮称お祭り会館を建設

観光事業については、観光客が再び訪れたくなるような魅力ある観光地として発展する



魅力ある都市農業を目指して

商店街の活性化を推進

商工業振興対策として、経営の安定化、活性化を図るため制度融資を拡充します。また、商店街のショッピングモール化事業をはじめとした商店街活動を積極的に支援していきます。

インターネットを利用した観光案内

年間を通じての観光客および観光需要への対応を強化するため、観光案内業務を充実し、インターネットを利用した案内業務を実施しています。

都市農業の振興

農業の振興に関しては、都市農業としての

生涯学習施設の整備

社会が成熟期に向かって着実に進行する中、生涯学習等に対する関心が高くなっていますので、基本的な推進計画を策定し、施設ニーズにこたえていきます。特に新年度は、小堤集会所の改築事業および高階北小学校の余裕教室を活用した生涯学習施設の整備に努めます。

学校施設設備の充実

学校の施設整備については、大規模改造事業の推進を図るとともに、新たな取り組みとして、災害時に児童・生徒の安全を確保するための耐震補強工事等を進めます。

老朽化した中学校技術科棟改修を図る

また、老朽化した中学校技術科棟改修を図るとともに、情報教育を推進するため、教育用パソコンが導入されていない全小学校に設置を図ります。

川越商業高等学校については、改築事業の最終年度にあたり、今後は個性を生かす教育を推進するため、地域の要請や時代の変化にこたえる魅力ある市立学校としてのあり方や教育内容について調査検討を進めます。

いじめ問題への積極的な取り組み

最近社会問題となっているいじめ、不登校児童・生徒への対策は、緊急に取り組むべき最重要課題となっています。

実効性のある校内指導体制を確立し、教師と児童・生徒の信頼関係の醸成に努め、保護者や地域社会との連携を図りながら、日常のきめ細かい指導に徹底して取り組んでいきます。

児童・生徒への対策は、緊急に取り組むべき最重要課題となっています。

いじめ問題への積極的な取り組み

都市基盤整備

電線類地中化の推進

幹線道路については、道路交通体系に基づき安全でゆとりのある道路空間の確保、すぐれた都市景観の創出等の観点から、通称サンロードに引き続き、通称新富町通りの電線類地中化事業を推進します。

道路・交通体系の整備

幹線道路については、道路交通体系に基づき安全でゆとりのある道路空間の確保、すぐれた都市景観の創出等の観点から、通称サンロードに引き続き、通称新富町通りの電線類地中化事業を推進します。



教育用パソコンを市立のすべての小学校に設置

市長への提案から

No.24



川越市長
舟橋功一

伊佐沼の水をきれいにします

市政懇談会で頂いたご意見を紹介します。

(提案要旨)

伊佐沼には以前きれいなハスの花が咲いていましたが、最近は沼の水が汚れたせいで見かけなくなってしまいました。再び花が見られるよう伊佐沼の浄化をお願いします。

(お答え)

伊佐沼の水質汚濁が進んだ原因は、周辺の排水路から流れ込む生活雑排水や釣り人によるまきえにあると考えられ、かんがい期以外の時期に特に汚濁が認められています。

汚濁の原因を取り除く方法としては「公共下水道事業」「農業集落排水対策事業」さらに「合併浄化槽補助事業」を進めながら、釣りをする皆さんにも協力していただくということが考えられます。

これらの事業の実施にはさまざまな問題があるため、長期にわたり計画的に進めていく必要があります。

そこで、市では当面必要な対策を施すため、「川越市伊佐沼水質浄化対策推進委員会」を設置し検討してきました。その結果、沼に流れ込む排水路にバイパス管を設置し、ほかの排水路へ流し、これにより減少する水量を井戸水で補充して水質汚濁の進行を防ぐ計画を立て、平成8年度から実施することになりました。将来は、ハスの花が咲くきれいな伊佐沼の復活を目指します。

伊佐沼に限らず河川等の水質改善については、市としてもいろいろな水質浄化対策を検討し努力してまいります。市民の皆様には、日ごろより油や野菜くず等の異物を流さないなどの心がけをお願いします。

市教育委員会では、五月から(仮称)「お祭り会館」建設予定地(蔵造り資料館駐車場・元町二丁)の発掘調査を開始します。元町二丁目の一角は、かつて南町と呼ばれた地域で、江戸築城後、徐々に城下町として整備され発展してきた川越。今回発掘調査する元町二丁目の一角は、かつて南町と呼ばれた地域で、江戸時代後期に中島孝昌の著した「三芳野名勝図会」によると、「昔は灰市場と云う、今は市中第一之繁花也」と記されており、当時の繁栄ぶりが伺えます。川越のまちは寛永の大火をはじめ江戸時代から明治にかけて幾度となく、大きな火災を経験してきま

ました。そのたびに、人々の努力によりまちはみごとに復興し繁栄を続けてきました。今回の調査では、大火の焼け跡やその後のまちが復旧していく様子が明らかにされました。今後、古い遺跡が保存されていることでしょう。今後、古い遺跡が保存されることは、行われる場合は、発掘調査により遺跡を記録保存し、その資料を後世の人々に伝えていかなければなりません。川越の歴史を明らかにしていく努力は、今後の川越のまちのあり方を考えていこうと、貴重な財産となることでしょう。

問い合わせ・文化財保護課調査係

内線29332

発掘協力員の募集

元町2丁目遺跡の発掘作業。

期間…5月7日～10月初旬(作業の進行状況により変更あり)

時間…午前8時30分～午後5時

給与…1日5,800円

対象…18歳～65歳の方

定員…10人(多数の場合選考)

申し込み…4月19日(金)までに文化財保護課(電話可)



元禄7年(1694)の川越城下図

発掘調査地

小江戸川越の歴史に新たな発見?



快適な生活に欠かせない下水道

市営住宅の建設を推進

浄化対策が行われる伊佐沼

公共下水道の整備

下水道については、市街化調整区域の生活環境の改善や河川、水路等の水質浄化を図るために、平成8年度を初年度とし、平成十二年度までの第八次下水道整備五ヵ年計画に基づき整備していきます。

水道水の安定供給の推進

水道事業経営については、水道の計画的整備を実施していくにあたり、その適正かつ能率的な運営を図ります。とりわけ、水道事業の使命である水の安定供給を第一目標とし、水資源の確保および有効利用を図ります。また、灾害等に備え、強い配水管網および施設の整備を進めます。

地域社会と市民生活

平和施策について、各種の平和事業を開催してきましたが、今後も、引き続き市民の平和への意識を高める諸施策の推進に努めます。

仮称葬祭会館を建設

市民のコミュニティ活動を積極的に支援するとともに、自治会集会施設の整備促進に努め、快適な地域社会の創造と市民生活の充

総合交通対策課を設置

組織の見直しについては、社会経済情勢の変化等に即応する要素で効率的な行政組織の確立が必要です。そのため、随時、組織の方を検討し、柔軟に対応していくように努めます。なお、新年度は既存の交通安全課を総合交通対策課に改め、交通関連の施策および事業に総合的に取り組む考えです。

■平成8年度の川越市予算説明書は、市立図書館と市内外各公民館でご覧になれます。
■予算についての問い合わせは、財政課(内線29321)へお願いします。

高齢化、国際化および多様化する市民ニーズなどに的確に対応し、行政水準の向上をいかに図っていくかが課題となっていますが、この基本となるのが行財政改革であると考えています。

昨年来職員の意識改革を中心に、経費削減や財源確保などの見直しを進めてきました。さらに、組織改正はじめ、行財政改革をなおいつそう推進するため意欲的に取り組む考えです。

また、行政改革の推進と経費の節減に配慮して、市のすべての施設で1%節電を実行します。

市民の多様化するライフスタイルにこたえるため、閉店時でも住民票・印鑑登録証明書の発行ができる自動交付システム導入し、市民サービスのいっそうの向上を図ります。

行財政

実際に努めます。さらに、市民の強い要望にこたえるため、通夜、告別式などが行える仮称川越市葬祭会館の建設のための用地確保に努めます。

平成8年度会計別当初予算一覧

会計別	区分	平成8年度A(千円)	平成7年度B(千円)	A/B(%)
一般会計(1)		76,140,000	73,280,000	103.9
国民健康保険		15,757,603	13,670,225	115.3
老人保健医療		16,920,499	15,285,938	110.7
休日急患診療		34,193	32,912	103.9
競輪		4,306,411	4,497,762	95.7
川越駅東口公共地下駐車場		310,373	311,280	99.7
交通災害共済		84,825	78,525	108.0
下水道		7,617,481	9,699,822	78.5
都市下水路		144,546	143,273	100.9
川越駅西口土地区画整理		509,662	428,010	119.1
水道		10,041,765	10,257,457	97.9
特別会計の小計(口)		55,727,358	54,405,204	102.4
総計(イ) + (口)		131,867,358	127,685,204	103.3

いろいろ泊まれて 楽しもありいっぱい 日本海が待つてる

海と温泉が、そろつていろいろうえに魅力的な保養施設がいっぱい。

日本海沿いに位置する村上市と紫雲寺町のホテル・旅館・民宿など、指定施設に泊まると利用補助（一部）があるから、楽しい旅が行きやすくなつて、なんとなく日本海が、近くなつた気がします。

瀬波海水浴場（写真提供・村上市）



指定保養施設

村上市

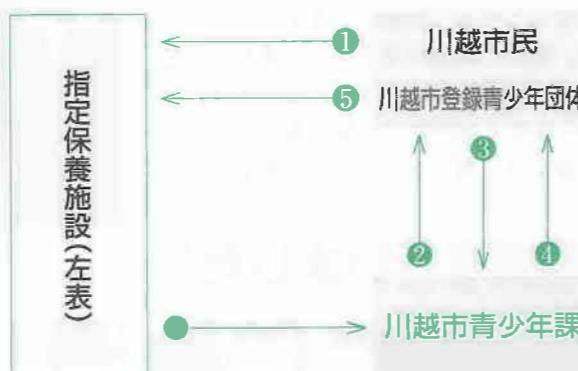
瀬波グランドホテルはぎのや	旅 380	☎ 0254-53-1212
三鳴屋旅館	旅 90	☎ 0254-53-2101
味の宿吉田屋	旅 80	☎ 0254-53-2145
大和屋旅館	旅 70	☎ 0254-53-2175
割烹旅館瀬楽	旅 60	☎ 0254-52-1155
ホテルすみきヶ池	旅 350	☎ 0254-53-1111
清流苑	旅 60	☎ 0254-53-5100
瀬波ビューホテル	旅 223	☎ 0254-53-3211
大観荘瀬波の湯	旅 540	☎ 0254-53-2131
夕映えの宿汐美荘	旅 500	☎ 0254-53-4288
静雲荘	旅 50	☎ 0254-52-1766
ホテル瀬波観光	旅 200	☎ 0254-52-7000
ホテルニュー大清	旅 100	☎ 0254-53-2522
料理旅館五泉屋	旅 30	☎ 0254-53-5000
和樂旅館	旅 22	☎ 0254-53-3187
若林	民 24	☎ 0254-52-5881
ことぶき	民 26	☎ 0254-52-2616
禪龍寺	坊 20	☎ 0254-52-3401

旅 40	☎ 0254-41-2013
民 80	☎ 0254-41-2768

紫雲寺町

割烹旅館多奈可や	旅 40	☎ 0254-41-2013
松原館	旅 80	☎ 0254-41-2768

* 色数字は収容人数



補助回数：期間内 一人一泊

補助金額：大人（中学生以上）五千円・小人（4歳～小学生）三千五百円

利用方法：左図参照

問い合わせ：青少年課管理係 公内線 255601

利用方法

- ① 保養施設に直接電話し、予約をするときに「川越市民」または「川越市に登録している青少年団体」であることを告げ、「指定保養施設利用補助制度」の利用を知らせます。
- ② 青少年課から「保養施設利用申請書」を記入し、利用日のおよそ十日前までに青年課に提出してください。
- ③ 届いた「保養施設利用申請書」に必要事項を記入し、利用日のおよそ十日前までに青年課に提出してください。
- ④ 青少年課が「補助券」を発行します。
- ⑤ 施設を利用する際（チェックイン）に「補助券」を提出。精算のときに補助額を差し引いた残りの利用料金を支払います。

海の家（千葉県蓮沼村）から指定保養施設（村上市・紫雲寺町）へ

財川越市青少年健全育成協会では、千葉県蓮沼村の「川越市海の家」老朽化に伴い、平成七年度で同施設を廃止しました。これに代わって平成八年度から指定保養施設の利用に対して補助を行うという新しい制度を導入しました。同制度は、川越市民などが指定された二十の民間保養施設を利用した場合、一定の額を補助するものです。

指定保養施設は、日本海を臨む新潟県村上市および同県紫雲寺町にあり、海と温泉を楽しむことができます。平成八年度は、試行期間として七月一日から十一月三十日まで、五か月間の利用に限られます。同九年度からは、年間を通じた利用が予定されています。

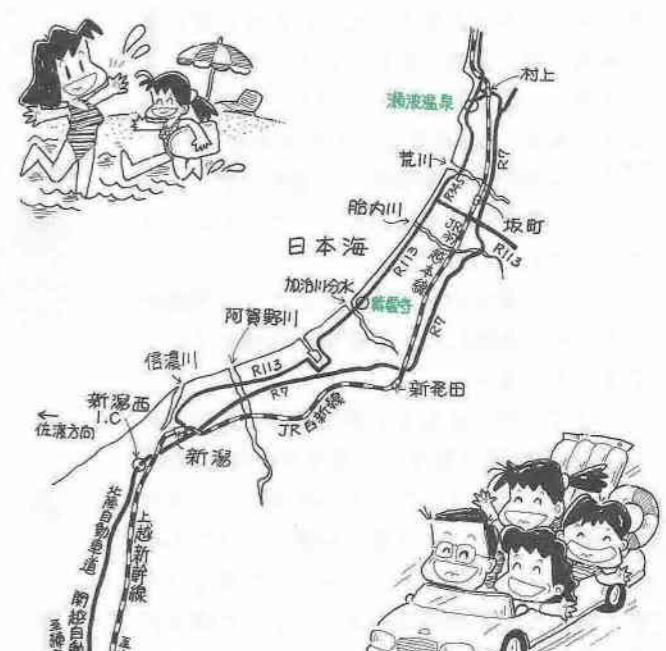
指定保養施設の連絡先、料金の目安などについては、青少年課・出張所・公民館に置いてある案内チラシをご覧ください。

利用期間：七月一日（月）から十一月三十日（土）まで（平成八年度）

予約開始：四月二十日（土）から予約できます

契約施設：左表の二十施設

補助対象：市内在住の方・川越市に登録している青少年団体



交通案内（村上市・紫雲寺町までの例）

自動車	関越自動車道	長岡JCT	北陸自動車道
	新潟西IC	国道7号	村上市
		県道803号	紫雲寺町
電車	川越線（埼京線）	大宮	上越新幹線 新潟
	一羽後本線	新発田	村上 バス 紫雲寺町

* 村上市は瀬波温泉、紫雲寺町は藤塚浜海水浴場が目印です。



川越シャトルの運行が始まりました。

平成8年4月10日

3月26日、シャトル発進



3月26日から市内循環バス「川越シャトル」が、運行を開始しました。シャトルバスは、現在、東コース（右回り4便・左回り4便）と南コース（往復各8便）の2系統を走行。料金は、乗車区間（距離）により、大人が150円から280円まで、子どもが80円から140円までとなっています。どなたでも利用できます。

乗車定員は33人。車いすは、2台まで乗車が可能です。車いす乗車時には、座席を折り畳むため、車いす2台乗車時の定員は29人になります。

車いすに乗ったまま乗降

川越シャトルは、市街地周辺地域の交通利便性を高める目的に加え、車いすに乗ったままバスへの乗降ができるよう乗降用のリフトを設けています。車両の左側中央にリフトを備えたマイクロ型路線バスは、全国でも初めてのものです。

皆さんのご理解とご協力が必要

運行中の乗降リフトは、運転士が操作します。車いす利用者1人が乗車するためには、およそ6分。その間、乗車されている方には、しばらくお待ちいただくことになりますが、ご理解をお願いします。車内は、車いす2台までの乗車が可能です。車いす用のスペースは、一般の座席を折り畳んで作るため、乗車している方の理解と協力が必要になります。状況に応じ、席をお譲りください。

バス停留所の注意事項

乗降リフトの操作には、歩道側に約3メートルの余裕が必要なため、リフト取扱停留所が設置できるのは、限られた場所になりますので、あらかじめご了承ください。また、定位置に停車できないとリフト操作のための場所（空間）がとれず、乗降が難しくなります。停留所付近には、駐車や自転車の放置をしないようにしてください。

注目度いっぱいの川越感覚

川越シャトルの車体は、川をイメージした濃淡の紫色。アクセントになっている三本線は、漢字の「川」をデザインしてあり、同時に左側のラインは、乗車口の足元に注意を促すための視覚的な効果を備えています。今季の季節なら、霞がたなびく新河岸川を桜が覆うよう印象的。そして、後面には、飛んで行く三羽の雁が描かれています。



県庁で披露式を行いました



運行開始前日、土屋義彦県知事を訪ね、「川越シャトル」の披露を行いました。席上、舟橋功一市長は、県への事業報告とともに市の取り組みについて触れ、「福祉のまち、川越」をアピール。県庁東玄関において、バスの紹介とリフトの操作説明を行いました。

特別乗車証をご利用ください

「川越シャトル」には、高齢者（70歳以上）・障害者が、無料で乗車できる「特別乗車証」があります。高齢者については高齢福祉課いきがい係（内線2541）、障害者については障害福祉課福祉係（内線2533）にお尋ねください。

川越シャトルは、東コース・南コース以外のコースも予定されています。
問い合わせ…総合交通対策課都市交通対策担当内線2641



3月28日、小ヶ谷老人憩いの家竣工式

老人憩いの家

「小ヶ谷老人憩いの家」「高階北老人憩いの家」「霞ヶ関東老人デイサービスセンター」が、4月1日、一齐にオープンしました。

老人憩いの家は、健康の増進やコミュニケーションなどで、高齢者の心身の健康増進を図る施設。市内に二ヵ所オープニングしました。高齢の方なら、いつでも、だれでも利用することができます。地域のコミュニケーションの場として活用してください。

施設の概要

小ヶ谷老人憩いの家・大広間（和室三十畳）、談話室、会議室（二十四人）

利用時間	午前9時～午後4時
休館日	毎週日曜日、祝日（敬老の日を除く）、年末年始（十二月二十八日～一月三日）
利用料	提出
利用対象者	(1)市内在住の六十歳以上の方 (2)高齢者の福祉の増進を目的とする公共団体または公共的団体等を記入
利用手続	(1)六十歳以上の方：受付に備え付けの利用者名簿に住所、氏名、年齢等を記入 (2)公共団体等：利用許可申請書を提出

高階北老人憩いの家

砂新田1丁目16-1 ☎48-6565



小ヶ谷老人憩いの家

小ヶ谷159-17 ☎45-8494



霞ヶ関東老人デイサービスセンター

利用時間

午前9時～午後4時

内線2545

休館日	週一回
利用料	六百円（給食代等を含む）
利用回数	申請書を高齢福祉課へ提出

*審査のうえ、利用者を決定します。

地区、霞ヶ関地区、名細地区

*家族の方が送迎する場合は、地区は限定されません。

市内在住の六十五歳以上の虚弱な方

施設の送迎が必要な方：霞ヶ関北

ターザーは、在宅の虚弱な高齢者を対象に、日常生活動作訓練（レクリエーション）や給食、送迎などのサービスを提供し、体の弱い高齢者等の福祉向上を図る老人福祉施設。市内で四か所目のデイサービスセンターとなりました。

市内在住の六十五歳以上の虚弱な方

施設の送迎が必要な方：霞



ネパール・少林寺の旅 いわたこういち 岩田弘一（31歳・今成）

昨年の夏、ネパール国カトマンズ市に行ってきました。目的は、2年前に開設した少林寺拳法ネパール支部への指導と友好交流。川越市少林寺拳法協会より矢島隆夫道院長、有田和樹道場長、私の3名で当地を訪ねました。現地の支部長ジョシ・ハリ・オム氏は、10数年間川越で少林寺拳法を行なう、以前この旅の空からで「四国・少林寺への旅」と題して紹介された方です。

同支部では昨年、少年部を設立。8人の子どもたちが、毎朝6時30分～8時の登校前と月・水・金曜日の大人といっしょの夜の練習で汗を流していました。ネパールの拳士たちを見て、日本人には無い（無くしてしまった？）何かを持っているような、そんな気がしてなりませんでした。

今回の旅では日本から古着（約80kg）を持参。ジョシ氏を通してネパールのユニセフ下部組織「コンサーン」へ直接手渡し、民間の友好交流を深めました。少林寺拳法のルーツはネパール、インドにあるといわれています。そのネパールで、とても貴重な体験をすることができた旅でした。

イラストコーナー



落合香織（13歳・砂新田）



吉田先生と部員の皆さん

みごと金賞・奨励賞 川越高校新聞部

高校生が作る新聞を審査する「第二十五回全国高校新聞コンクール」（大東文化大学主催、文部省・朝日新聞社後援）で、川越高校（深谷正雄校長）の新聞が金賞の中の奨励賞に輝き、三月十四日に表彰されました。

全国百八十八校の応募の中から受賞した「川越高校新聞」は、昨年の十月三十一日発行の第二百四号（四ページ）。一面の記事では生徒会の評価と支持率を取り上げ、また酸性雨の調査報告、川越市の商店街戦後五十年史、川高生徒の五十年史などに取り組みました。

酸性雨の問題は昭和六十三年から継続しているテーマです。新聞部員みずから川越市周辺の雨を採取。値を示して前回の調査より酸性度が進んでいることを指摘し、エネルギーの節約を呼びかけています。

新聞部は昭和二十五年の創部。部員は一人で発行は年六回。「編集方針は生徒会活動の活性化と地元川越市民との交流を目指しています」と顧問の吉田尚司先生（社会科）。部長の黒沢雅人さん（二年）は、「これからも先入観にとらわれず、常に物事を公平な目で見ていいきたい」と力強く話してくれました。

まちのできごと トーキー 109パレット 川越市の面積は109.16km²



なまず号で地震の体験を

川越地区消防組合は2月、2台目の地震体験車「川越なまず号」と小型動力ポンプ付き水槽車を導入しました。なまず号は水平動や上下動を同時にまたは別々に起こすことができ、兵庫県南部地震をはじめ8種類の地震が再現できます。地域や学校での非難訓練などに、たいへん役に立ちますので、皆さん大いにご利用ください。

たいへんだったそばの観察

市川沙織さん（上戸小2年）が日本麺類業団体連合会主催「第11回そばの花観察運動」の観察記録部門（作文）で努力賞を受賞しました。3月6日、学校での表彰式のあと、同会川越支部（田中富美雄支部長）の皆さんのが2年生全員にそば作りの指導。生活科でそばを育てた市川さんは「上手に細く切れました」と大喜びでした。

さつまいもの国際交流

3月23日、中国農産品加工技術考察団（陳愛民江西省宜春政府市長ほか6人）が、サツマイモ資料館（小室）などを見学しました。世界のさつまいも総生産量の88パーセント、約1億500万トンを生産する中国。一行は井上浩館長の説明に熱心に聞き入り、芋食品などを手にして日本の加工技術は世界一と感想を述べていました。



はーとふる



人気の「ファファ」に子供たちの長い列



川越市のPRコーナー



3月26日、圈央鶴ヶ島ICで開通式。テープカットとくす玉割りのあと、パレードが盛大に行われました。

心をつなぐみどりの道 春ときめいて圈央道が開通

一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（圈央道）



開会式であいさつする舟橋功一市長

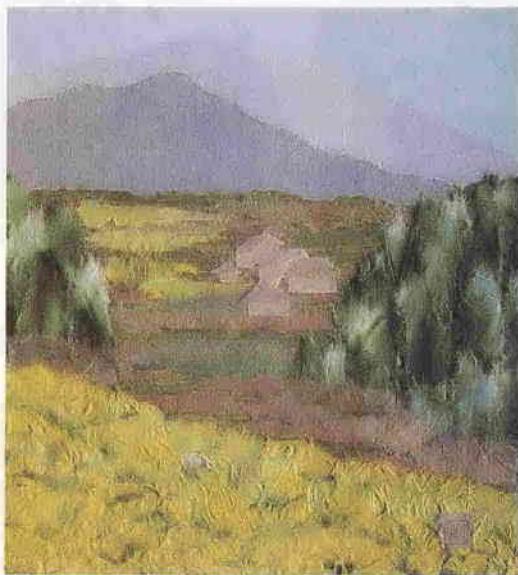


第7回鶴ヶ島グリーンロードマラソン大会



和紙にたくして

菜の花



はり絵
文 新井紀子
新井時子

25



編集日記

夜空に輝く星の数が、昔に比べてずいぶん減った気がします。環境のせいか、はたまた年で視力が落ちたせいか……▶ある本に、日本では昔、○印を使って星を表していましたとありました。その名残が大相撲の星取表の○●。西洋では☆印を使っていたとのこと。これは湿度の差による見え方の違いからくるもので、日本は適度な湿度が星の光をやさしく届けているのだそうです▶今、北斗七星と北極星の間を「百武すい星」が流れています。4月12日は世界宇宙飛行の日。すい星を発見した百武さん、宇宙飛行士の夢を実現した若田さん。見上げる星空は宇宙への関心とロマンを感じさせます。

表紙の写真（川越女子高校・六軒町1）



わが街川越 番組ガイド

●テレビ埼玉

月曜日
火曜日

午後10時15分～10時25分
午後5時30分～5時40分

●川越ケーブルテレビ 月～日曜日

午前11時～11時10分
午後7時～7時10分
午前0時～0時10分

■一部変更になることがあります。あらかじめご了承ください。



「新年度予算を語る」

テレビ埼玉（38ch）

4.15(月)・16(火)	新年度予算を語る
4.22(月)・23(火)	川越シャトル
4.29(月)・30(火)	女性大統領小江戸を訪問

川越ケーブルテレビ（15ch）

4.15(月)～	新年度予算を語る
4.22(月)～	蔵造りの魅力
4.29(月)～	川越の伝説

新年度予算を語る

平成8年度予算の概要、市政方針について、舟橋市長が語ります。第2次川越市総合計画が始まる新年度。7つの柱によって「市民がいきいきと新しい暮らしを創造するまち」川越を目指していきます。

川越シャトル

市内循環バス「川越シャトル」が3月26日から運行を開始。公共交通機関を経由する市民の足として活躍し、車いすに乗ったまま昇降できるシャトルバスについて利用方法、循環コースなどを紹介します。

女性大統領小江戸を訪問

県主催の「世界女性みらい会議」に出席のため、アイスランド共和国のヴィグディス・フィンボガドッティル大統領が来日。4月22日、小江戸川越を訪問します。番組では、当日の模様をお伝えします。

■発行／平成8年4月10日（毎月10日・25日発行）

■発行人／川越市長 舟橋功一

■編集／川越市広報課 〒350 埼玉県川越市元町1-3-1 ☎0492-24-8811内線2132

■印刷／有新広社

広報川越は再生紙を使用しています